



組合員との絆づくりに 全18支店が支店新聞作成

JA富士市の全18支店は、訪問先や組織部会の正組合員の皆様にJAをより身近に感じていただくため、独自に作成した支店新聞を7月中旬に発行しました。

紙面には、支店や職員の紹介、独自の取り組みや地場産品のPR、おすすめの商品などを掲載。手作り感満載の親しみ溢れる支店新聞が出来上がりました。手に取った組合員の皆様から「職員の趣味などを知った。話のきっかけになる」と高評価をいただきました。



次号は10月に発行予定です

田子つこ産直市で 地場産メロンフェア

田子つこ産直市は、産直市をご利用の皆様にご感謝の気持ちを込め、7月3日にメロンフェアを開催しました。

当日は、多くの皆様が、管内で生産された高糖度で芳醇なアイリスメロンを買い求めて賑わいました。



新鮮野菜をお得な価格で提供しています



メロンを購入されたお客様

産直市会員の皆様

岩本地区でひまわり5千本

「岩本山とかりがね堤を守る会」が、耕作放棄地を活用して、植えたひまわりが満開を迎え、多くの方が訪れました。



POPで産直売上につなぐ

JA富士市営農販売課は、全15産直市の売り上げ向上につなげるため、コトPOP講習会を開催しました。消費者に伝わる作り方を学び、参加者たちは、熱心にPOPを作成しました。



富士市立高の商品開発授業



3年生は、大洲洋菜部会の協力の下、授業で使用する「トモロコシ」の収穫体験などを通して農業への理解を深めました。

大淵第一小で新茶を楽しむ



5年生は、大洲茶業部会の協力の下、86名が一人ずつ急須を使って茶を入れ味の違いを楽しみました。

【学校へ茶提供】
まるは園・ヤマサ・ピュアグリーン・勝亦園・荻野製茶・マツムラ製茶・富士本製茶・かとう園・服部製茶

富士中央小で出前授業



6年生は、営農販売課の協力の下、SDGs学習の一環として米作りなどの農業を知り、住み続ける街づくりへの理解を深めました。